

観光交流部門

全国ご当地鍋フェスタ「鍋ー１グランプリ」について

全国ご当地鍋フェスタ

企画運営委員会 委員長

○中西 隆夫

京都府 笠置町 企画観光課

永江 匠

1. 活動方針・目的

笠置町は人口が京都府下で最も少ない町で、過疎化や少子高齢化が進展し、観光客の減少が続いています。全国ご当地鍋フェスタ実行委員会は、笠置町の商工観光振興の活性化を目的に、わかさぎ温泉 笠置いこいの館前広場にて、食と地域の文化交流イベント「全国ご当地鍋フェスタ」を毎年開催しています。平成23年秋に京都府内全域で国民文化祭が開催されることが契機となり、そのプレイベントとして平成22年に開催したのが当イベントの始まりです。笠置町の旅館全てで提供されている名物「きじ鍋」をはじめ、全国からご当地鍋やご当地グルメが集結する町の一大イベントです。

2. 活動内容

約20店舗が販売する全国のご当地鍋の中から、来場者の投票により決定する「鍋ー１グランプリ」がメインイベントです。そのほか、全国のご当地グルメの販売、きじ鍋をはじめとする笠置町内からの出店販売、歌唱や楽器演奏などのステージイベント、「まゆまる」や「せんとかん」などが集まるご当地キャラ（ゆるキャラ）イベント、子どもが手づくり体験を楽しめるキッズイベント等を実施しています。

3. 他の活動団体の参考となる事例

活気にあふれたイベントになるよう、笠置町の商工観光や地域振興に携わる各種団体により構成された企画運営委員会で開催に向けた検討を行っています。これまで笠置町では、季節ごとの主要なイベントを役場、商工会、観光協会の三本柱で行ってきました。全国ご当地鍋フェスタでは、これらに青少年育成委員会、老人クラブ連合会、社会福祉協議会、食生活改善推進員協議会、青年団なども参画し、協働で取り組んでいます。

また、近隣の公共施設へのチラシ・ポスターの配架依頼やフリーペーパーへの掲載依頼、新聞・ラジオ・テレビを使った広報活動にも注力しています。

こうした取り組みにより来場者数は年々増加傾向にあり、第1回の2,000人に対し、昨年の第5回は10,000人となりました。

4. 今後の課題等

イベント当日は多くの人笠置町を訪れている一方、笠置町の商工観光振興の恒常的な活性化には至っていないのが実情です。観光商工関連業者以外の町民の自主的な参加を促し、他の魅力ある観光資源との活用による着地型集客交流につなげていくことが求められます。



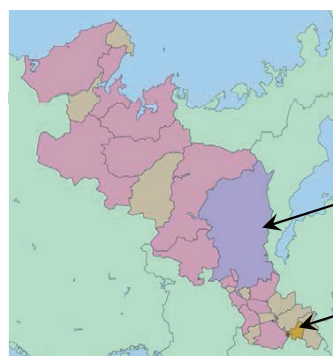
全国ご当地鍋フェスタ 鍋-1 グランプリ

全国ご当地鍋フェスタ「鍋-1グランプリ」について

全国ご当地鍋フェスタ実行委員会（京都府相楽郡笠置町）

笠置町の基礎データ

- ◆ 人口
1,529人（平成27年1月1日現在）
日本で2番目に人口が少ない町
- ◆ 面積
23.57平方キロメートル
- ◆ 歴史
後醍醐天皇と鎌倉幕府による「笠置山の戦い」の舞台として有名
- ◆ 自然
木津川河川敷の桜（桜の名所100選）
笠置山もみじ公園の紅葉（ライトアップ有）
- ◆ 観光・レジャー
笠置寺（磨崖仏など）、木津川河川敷キャンプ場、
わかさぎ温泉笠置いこいの館、布目川甌穴群、
カヌー教室、ボルダリング など



京都市

笠置町



笠置町が目指す地域づくり

地域資源の発見・発信

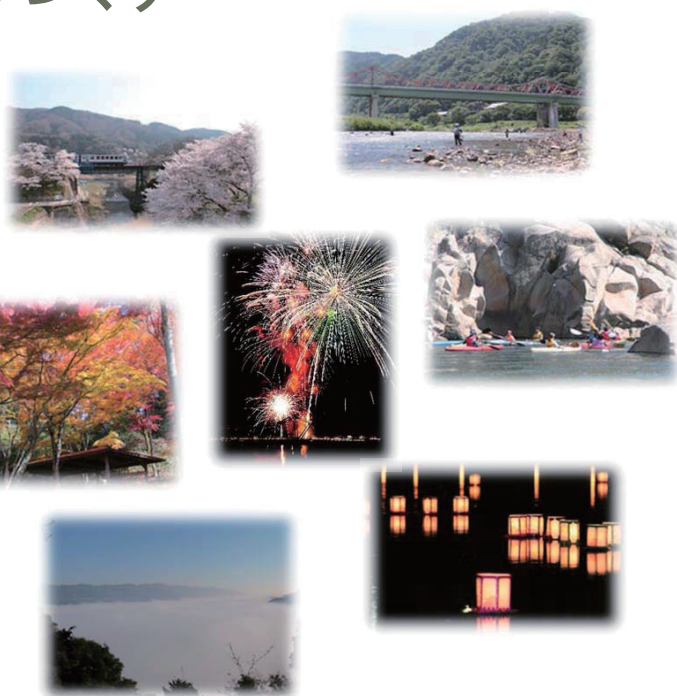
商工観光振興の活性化

産業・雇用の創出

定住・交流人口の増加



魅力的なまち 笠置町



3

全国ご当地鍋フェスタ「鍋ー1グランプリ」



笠置名物「きじ鍋」をPRする機会として、なおかつ全国のさまざまなご当地鍋・ご当地グルメが味わえる食と地域の文化交流イベントとして、鍋が美味しい季節である毎年12月の第1日曜日に「全国ご当地鍋フェスタ」を開催しています。

4

過去5回の開催実績

	来場者数	出店鍋団体数 (販売数)	出店グルメ団体数 (販売数)
22年度 第1回ご当地鍋フェスタ (国民文化祭プレイベント)	2,000人	11団体(2,268食)	10団体(1,929食)
23年度 第2回全国ご当地鍋フェスタ (国民文化祭)	6,500人	23団体(6,380食)	14団体(4,710食)
24年度 第3回全国ご当地鍋フェスタ N-1グランプリ	7,000人	25団体(6,880食)	14団体(3,410食)
25年度 第4回全国ご当地鍋フェスタ 鍋-1グランプリ	12,000人	22団体(6,909食)	15団体(6,112食)
26年度 第5回全国ご当地鍋フェスタ 鍋-1グランプリ	10,000人	21団体(未集計)	16団体(未集計)

平成23年秋に京都府内全域で国民文化祭が開催されることが契機となり、そのプレイベントとして始まりました。以後、名称を変えながらも同じコンセプトで開催し続けています。来場者数は年々増加傾向にあります。

5

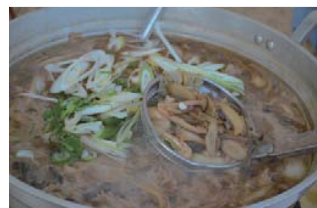
ご当地鍋の紹介



やせうまだんご汁
(やせうまだんご汁チーム)



恭仁京鍋
(男子厨房に入ろう会)



京・村人なべ(ぼたん鍋)
(京・村人なべプロジェクト)



松本亭きじ鍋
(松本亭)



各務原キムチ鍋
(キムチ日本一の都市研究会)



かも鍋
(御所市観光協会)



みまさかホル鍋
(みまさか商工会)



高校生がつくるちゃんこ鍋
(京都廣学館高等学校)

6

第5回全国ご当地鍋フェスタの様子



出店団体のブース内は大忙し



笠置の子どもたちによる太鼓演奏



「まゆまる」登場！



「いづみ姫」と記念撮影♪



色々なご当地鍋が味わえます



鍋で心も体も温まります

第5回全国ご当地鍋フェスタの様子



地域活性化プロジェクトの展示



山梨のご当地キャラも



井手町の「いでたん」大人気！



フラッシュ・モブでサプライズ！

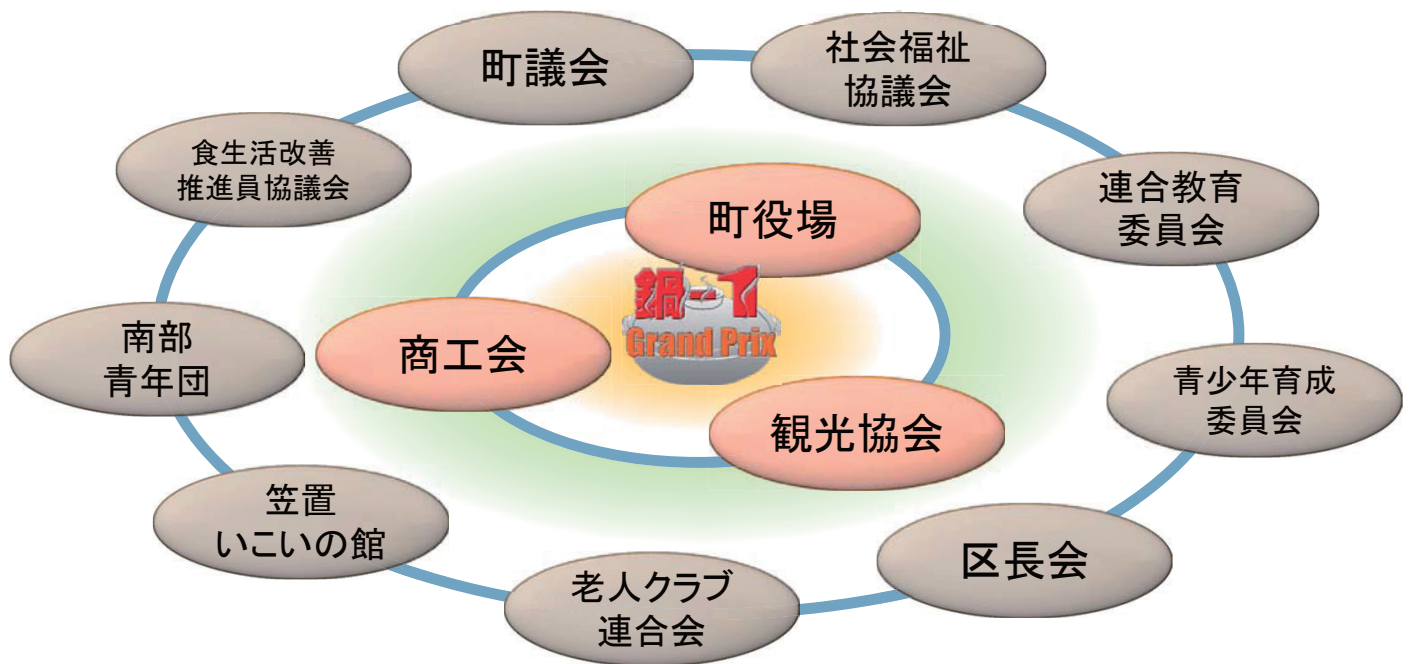


新鮮な地元の野菜です



笠置中学校によるお茶サービス

鍋が繋げる人と人



9

今後の課題・目標

- 商工観光振興の恒常的な活性化
- 町民の自主的な参加
- 他の観光資源との組み合わせによる着地型集客交流
- 外部団体(学校など)との連携

10